



2025年3月期決算説明会 経営概況

2025年5月14日

太平洋セメント株式会社

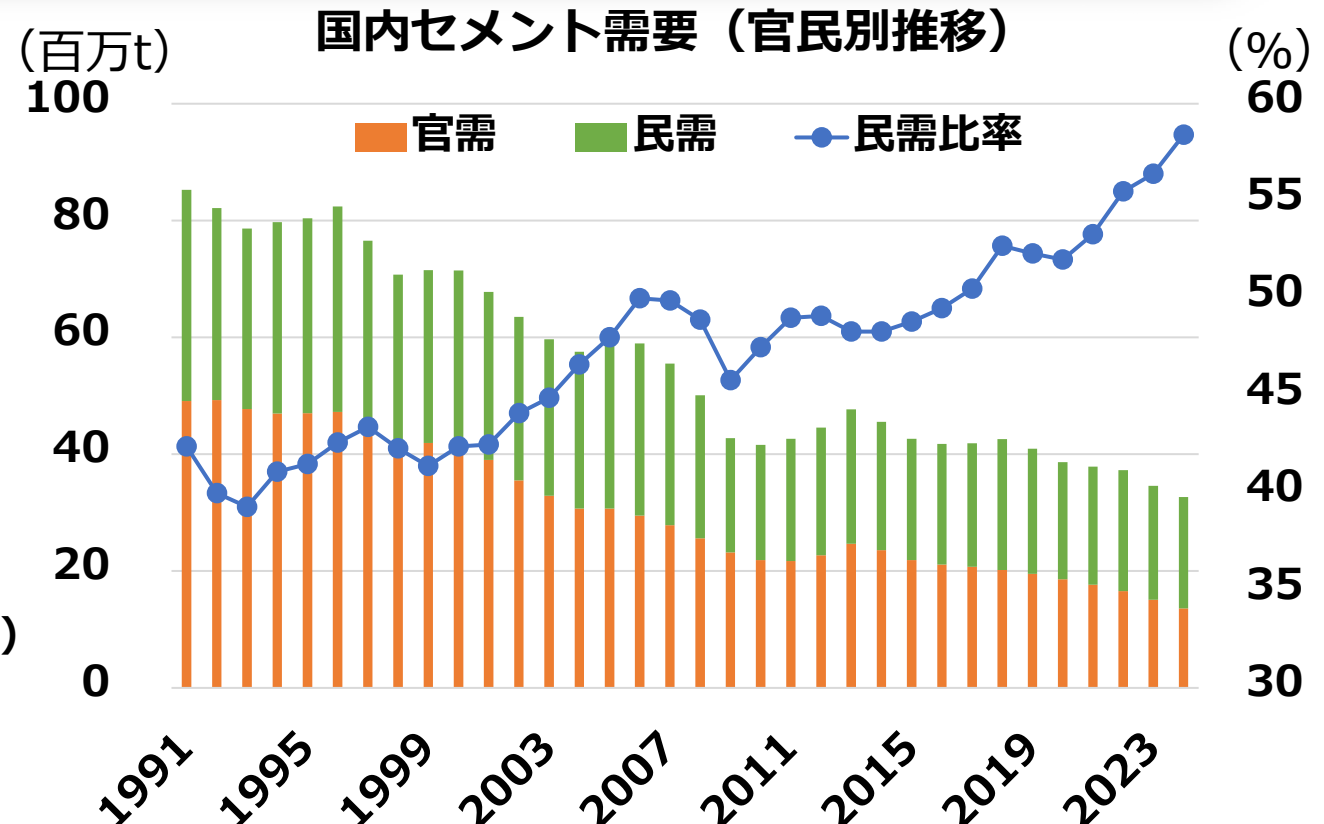
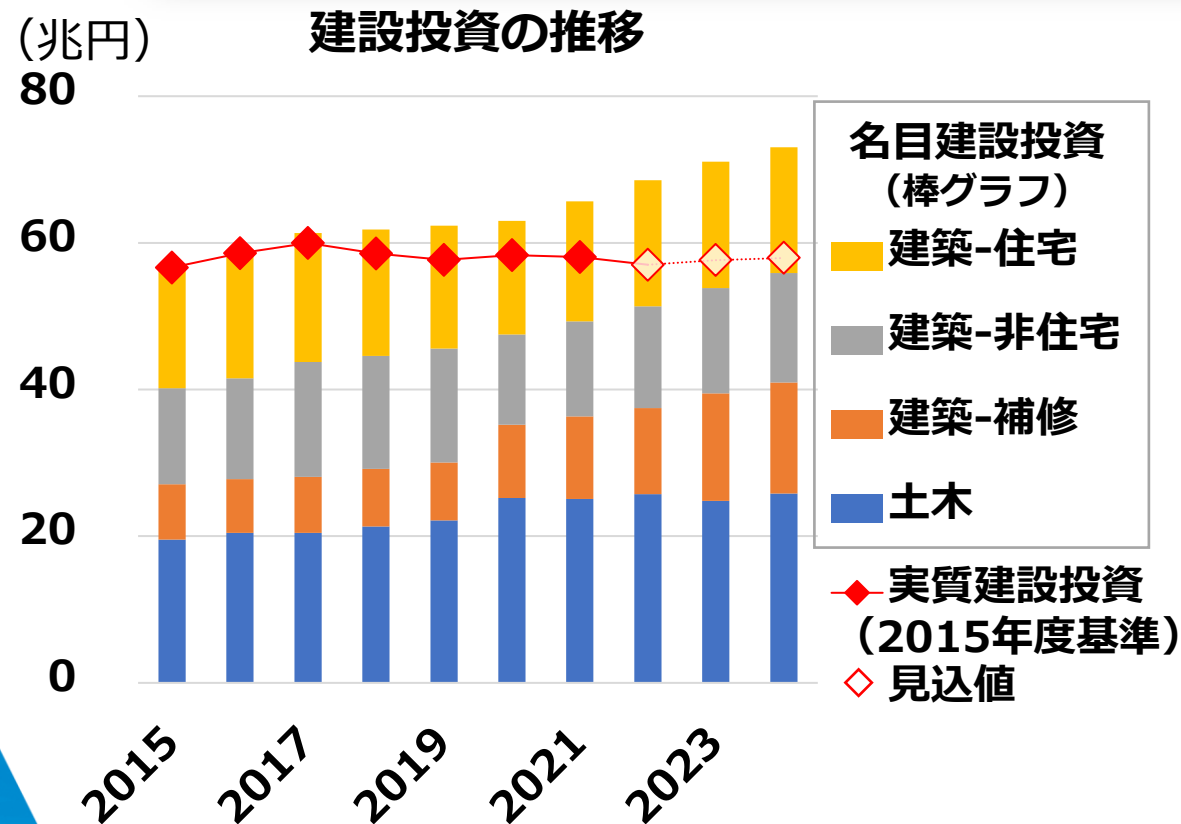
Ambidexterity（両利きの経営）

	攻め	守り
国内事業	混合セメント輸出 CN・DX推進	売価Up (シェアは追わない)
海外事業展開	米国事業の強化	中国から東南アジアへシフト
米国事業	スラグ、FA、混合セメント輸入 ゼオライト鉱山開発	垂直統合の深化 (骨材山・生コン買収)
トレーディング事業	第3国からの輸出 インドネシア { 石炭価格 ETSに左右されない	高付加価値セメント開発 新規輸出先開拓（日本からの輸出）
組織	CN、DX、GX推進部 研究開発本部	太平洋グループの山脈化
PBR向上	成長投資 ポートフォリオ組替え	配当Up 自社株買い

国内需要見通し

● 国内建設市場の動向

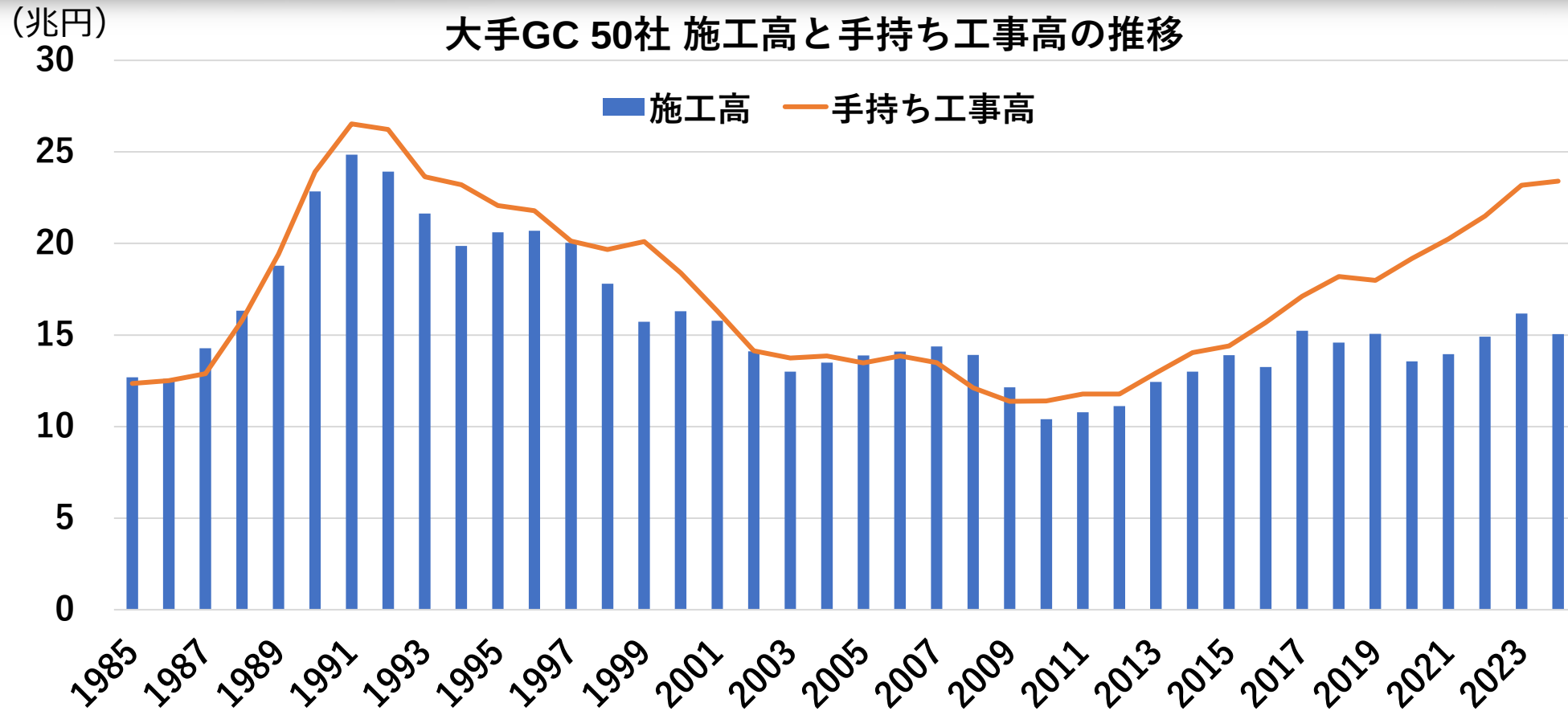
- 建設投資は、物価上昇等の影響により名目値では上昇傾向にあるものの、**実質値では横ばいが続く**
- 一方、セメント需要は、建築工法の変化や慢性的な人材不足を背景とした工期の長期化、建設コスト高騰等により**長期的に減少傾向**にあり、**特に官需の落ち込みが大きい**



国内需要見通し

● 国内建設市場の動向

- 近年は人手不足により公共事業で不調・不落が発生
- 需要と供給のアンバランス（≒需給ギャップ）が原因で**供給側の手持工事高は積み上がっているが、消化しきれない状況**が続く



国内需要見通し

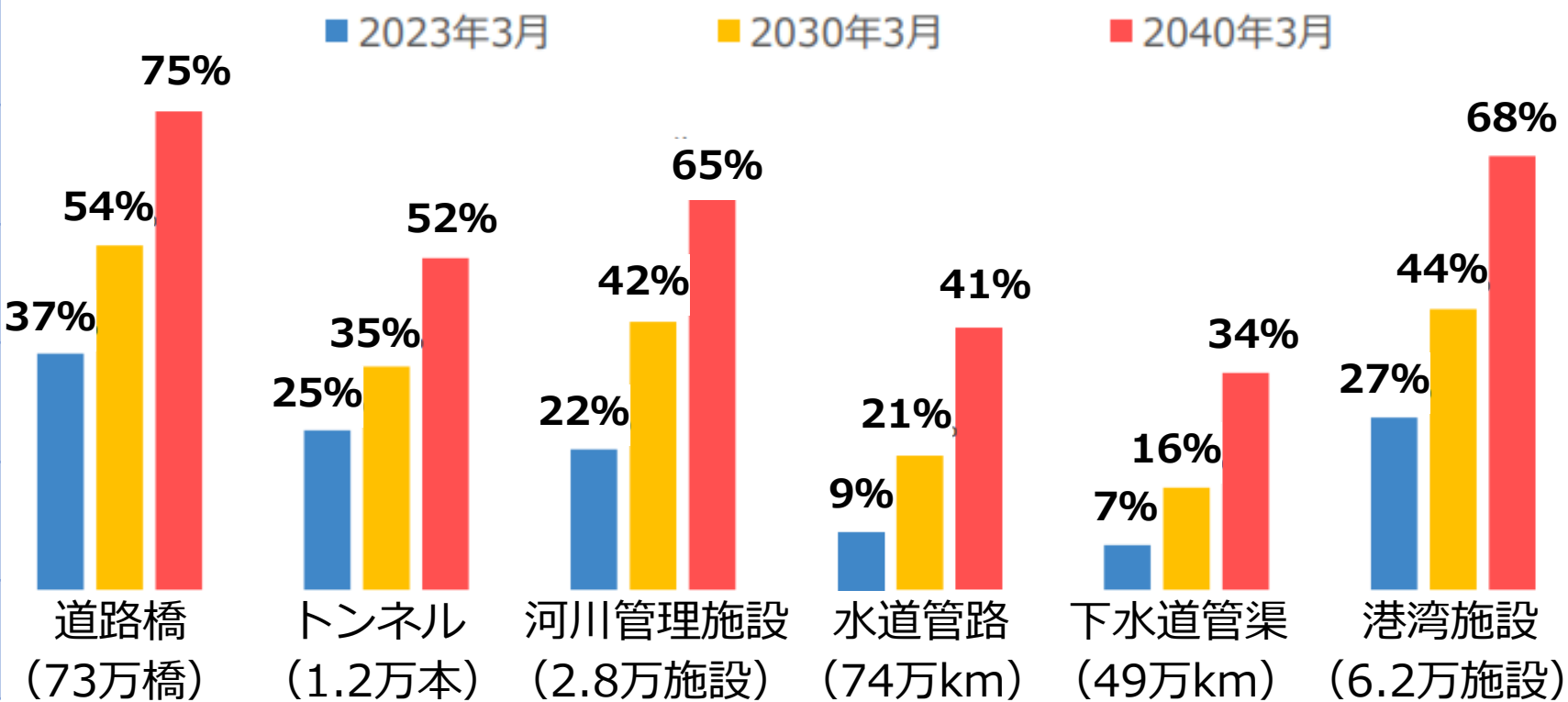
● 老朽インフラの維持・更新需要

- 国内では社会インフラの老朽化が進行し、**至るところで実害が発生**
- 高度経済成長期以降に整備された社会資本のうち、**建設後50年以上経過する施設の割合が今後、15年で加速度的に高くなり**、老朽インフラの維持・更新需要の本格化が見込まれる

インフラ老朽化問題が顕在化した事例

2007年	三重県 木曽川大橋 トラス斜材破断
2012年	中央自動車道 笹子トンネル 天井板崩落事故
2018年	東京都 水道管破損事故
2018年	広島県 西日本豪雨による砂防ダム決壊
2021年	和歌山県 水管橋崩落
2025年	埼玉県 八潮市道路陥没事故

建設後50年以上経過する社会資本の割合（2023年3月時点）



国内需要見通し

● 国内需要の推定

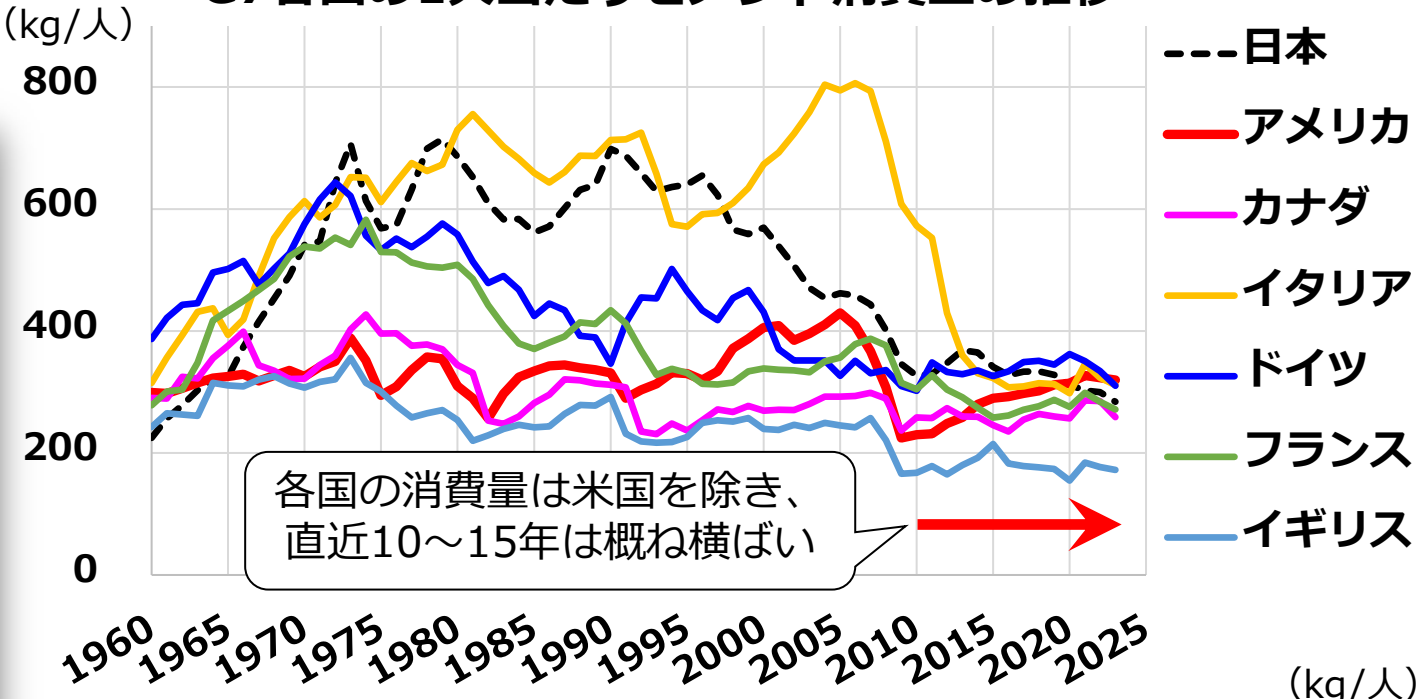
人口推計と1人当たり消費量から推定した内需

	人口推計 (千人)	1人当たり セメント 消費量 (kg/人)	国内需要推定 (百万t)
2025	123,262	248 ～ 288	30.6 ～ 35.5
2030	120,116		29.8 ～ 34.6
2035	116,639		28.9 ～ 33.6
2040	112,837		28.0 ～ 32.5

日本の1人当たりセメント消費量が
248～288kgで推移した場合、国内需要
は**3,000万t程度**で落ち着く見通し

出典： 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和五年推計)」
から出生中位、死亡中位が前提条件の人口推計を適用

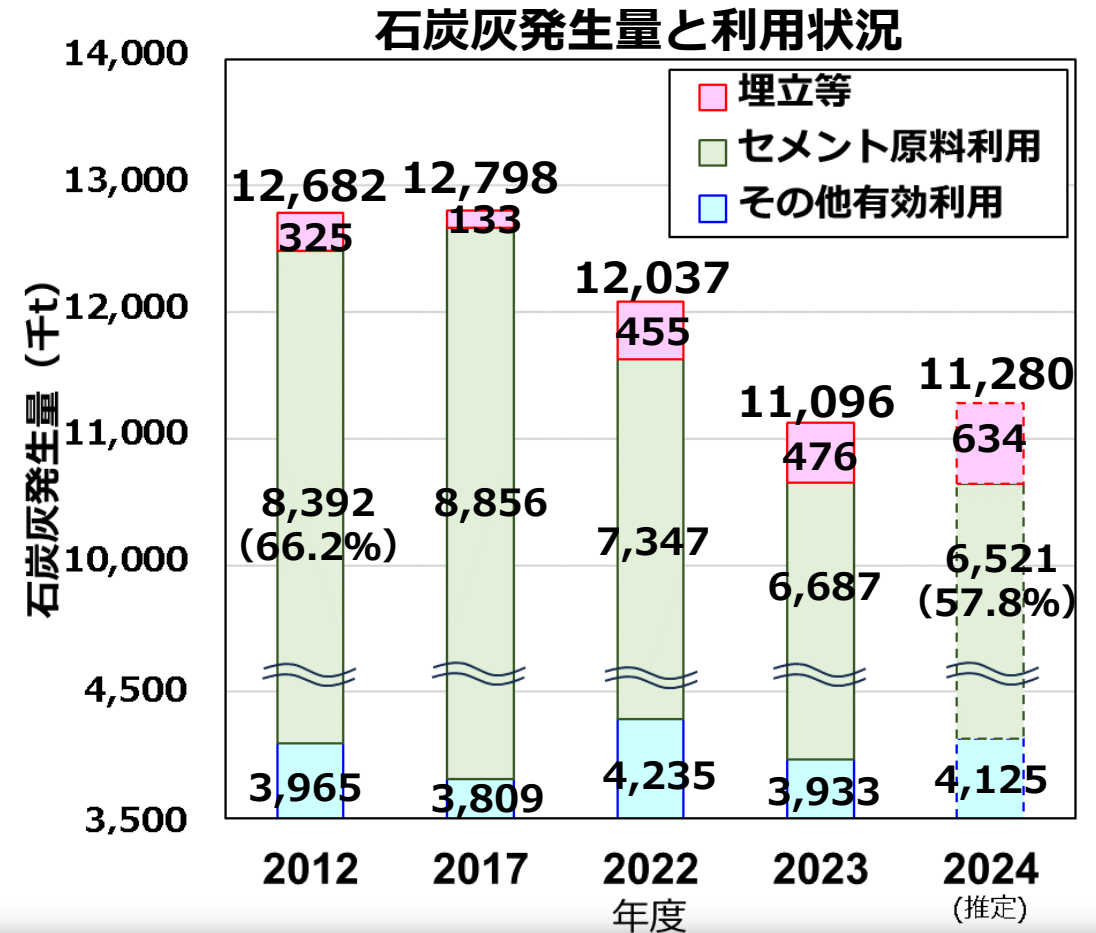
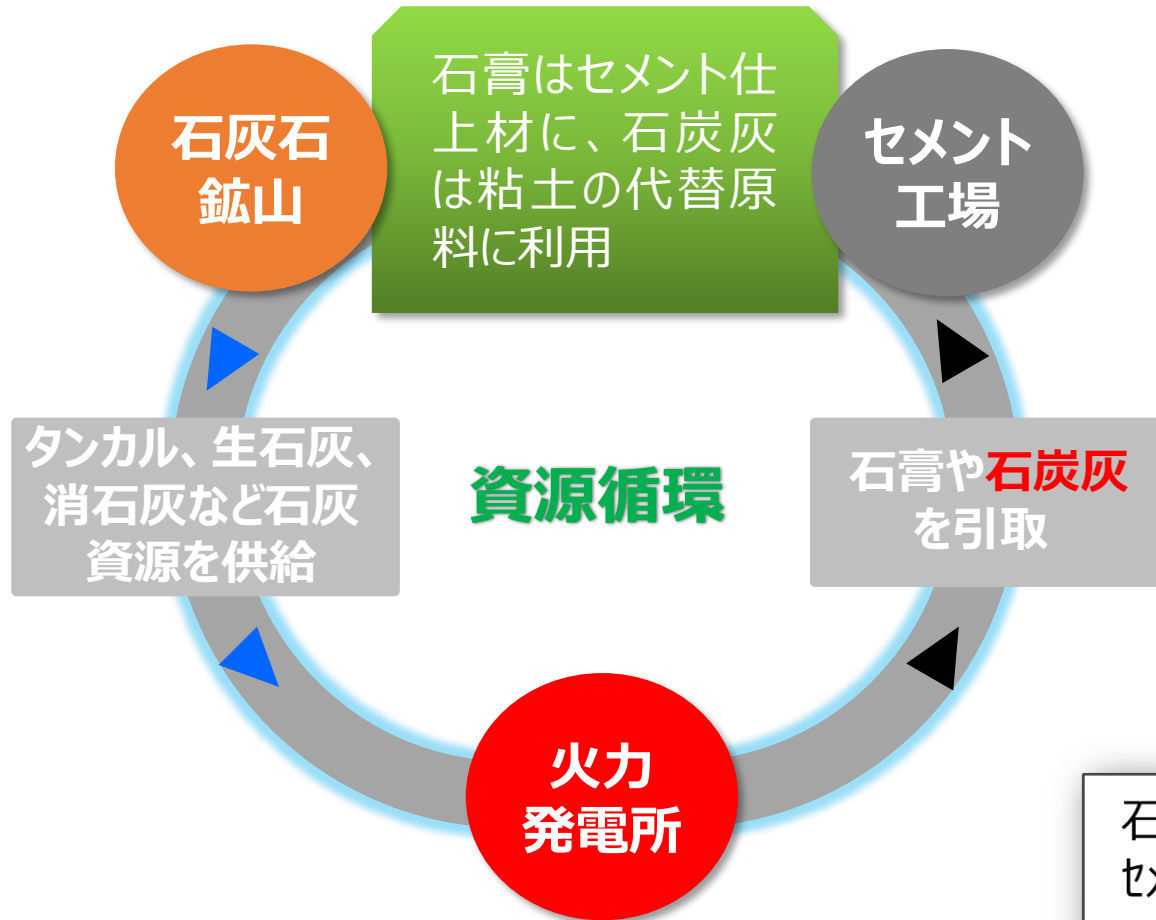
G7各国の1人当たりセメント消費量の推移



	日本	アメリカ	カナダ	イタリア	ドイツ	フランス	イギリス	平均
2000年以降 の最低値	267	225	235	298	302	258	155	248
直近の 実績値	267	304	286	346	351	299	185	291
直近実績の 10年平均	313	310	260	333	342	280	180	288

国内需要減の対策

● 火力発電所との資源循環事業



石炭灰発生量：直近10年で大きな減少なし
セメント原料利用：セメント生産量減に伴い減少傾向にあり処理しきれない分が**民間処分場での埋立へ**
(多くの発電所は自社の処分場を温存)

国内需要減の対策

● FAセメントの輸出

太平洋セメント

- ☆ 国内工場の稼働率維持
- ☆ CNの推進

電力会社

- ☆ 火力発電所の安定操業
- ☆ 最終処分場の延命

「四方良し」の関係



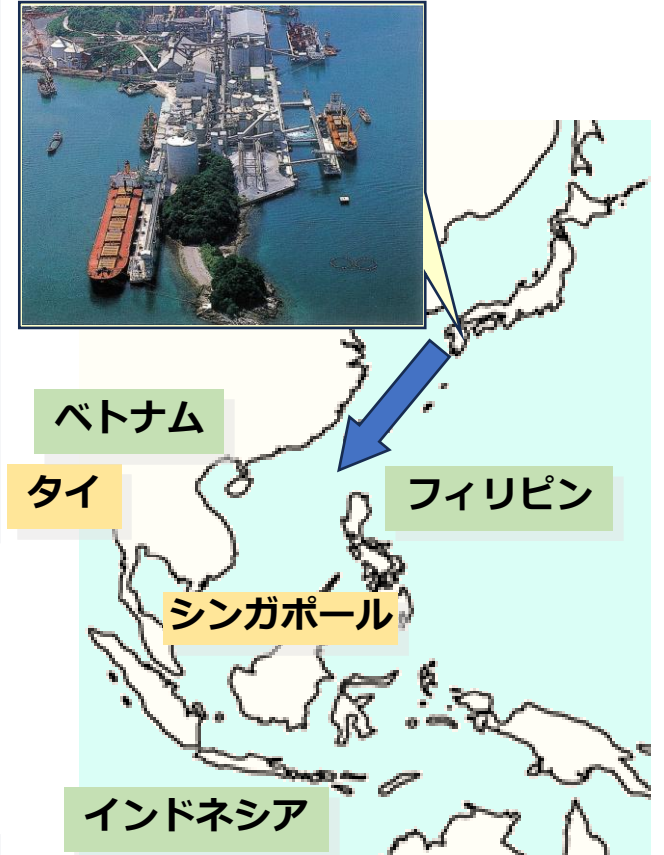
社会

- ☆ 産業廃棄物の処理先確保
- ☆ 激甚災害時のがれき処理

東南アジア

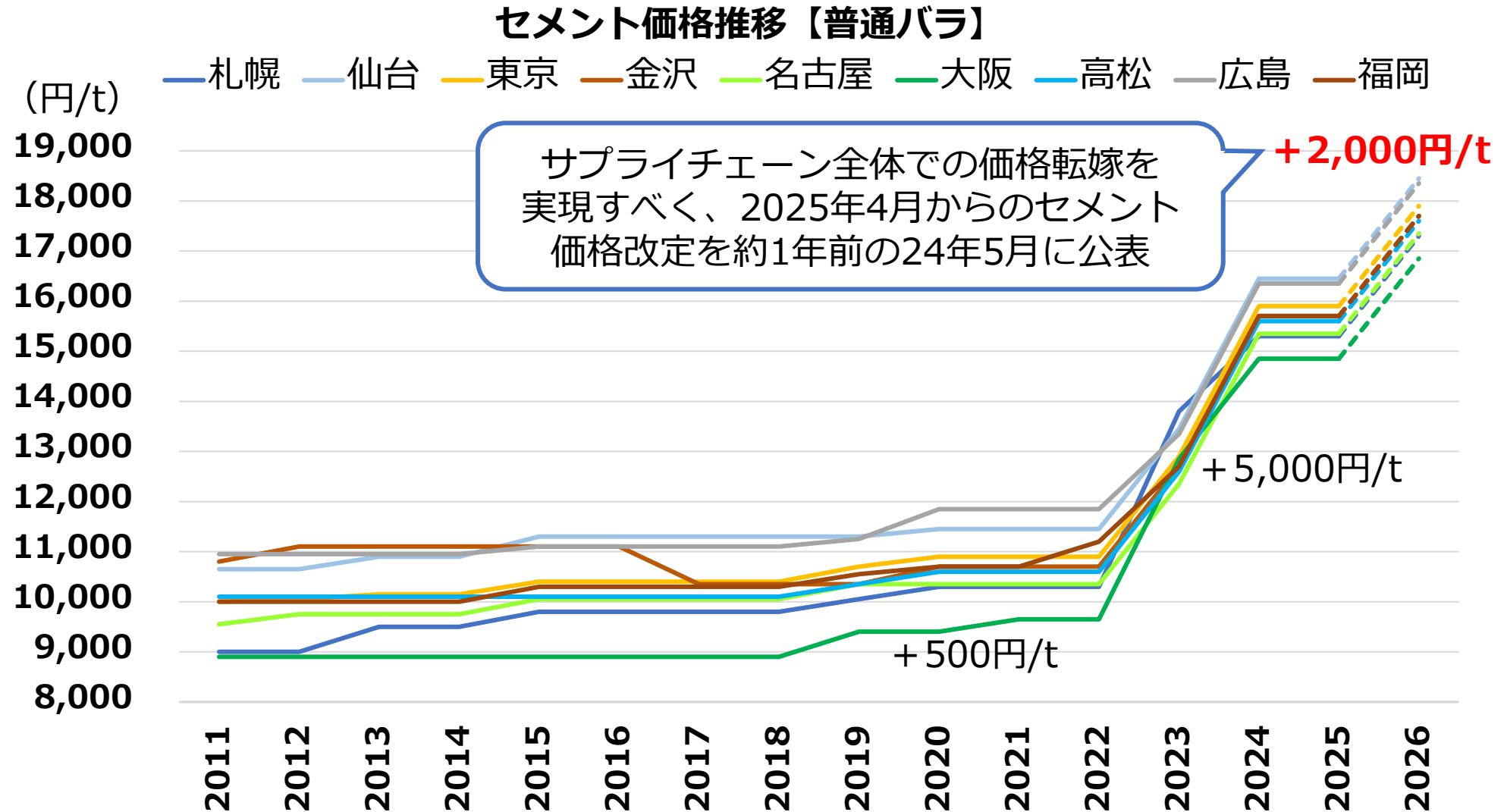
- ☆ 安価で高品質な環境配慮型混合セメントの供給

混合セメント化が進む 東南アジア市場

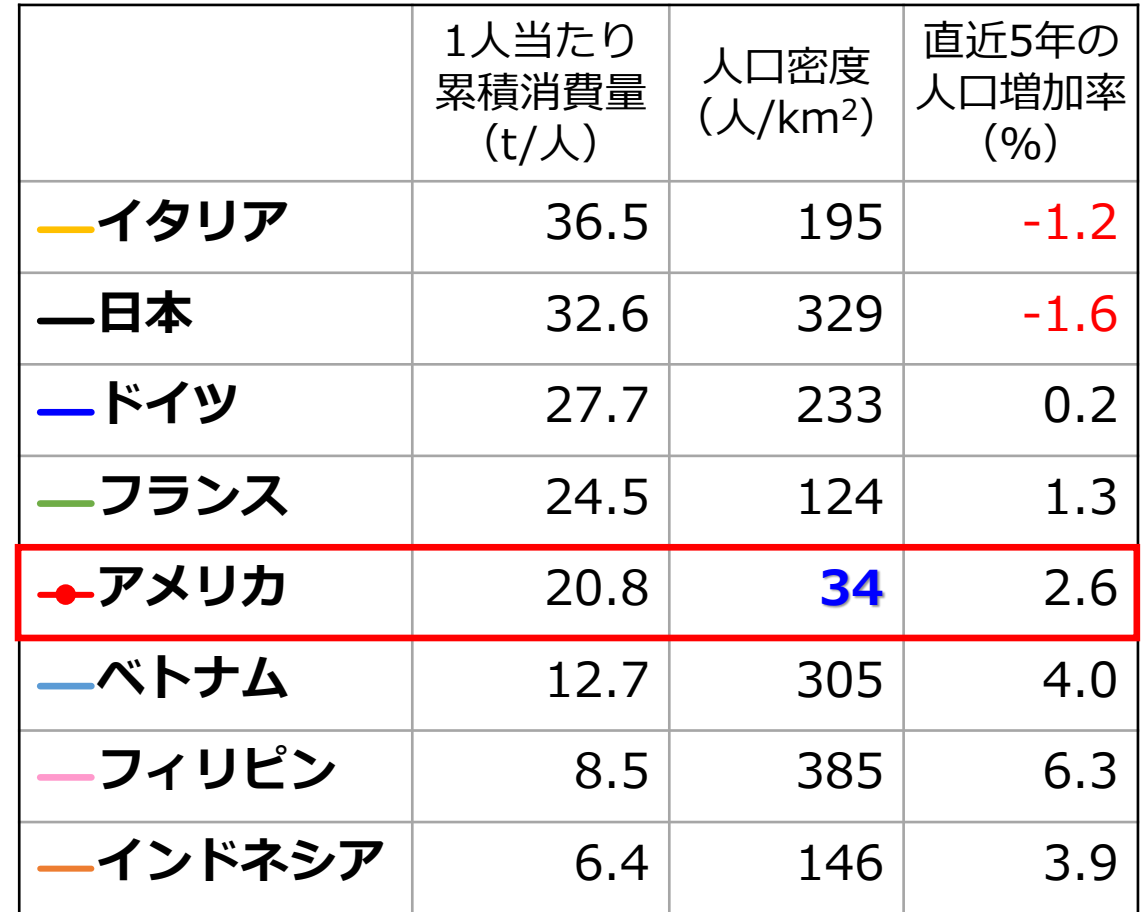


国内需要減の対策

● セメントの値上げ



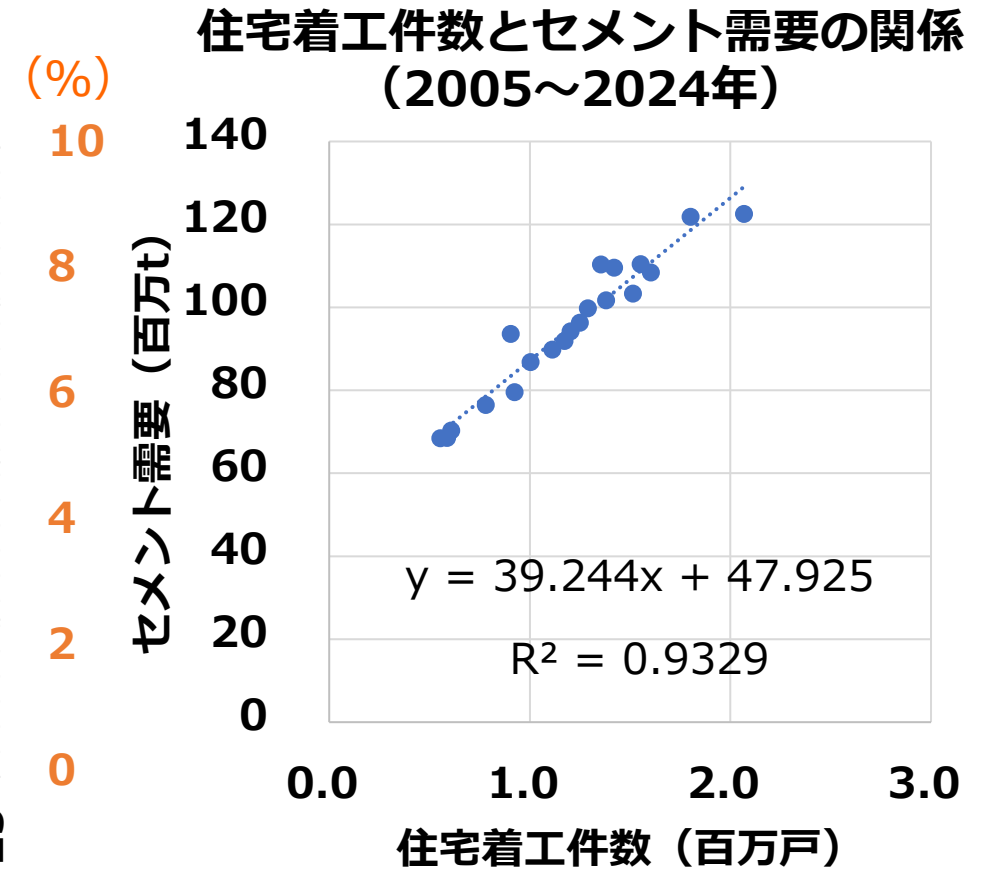
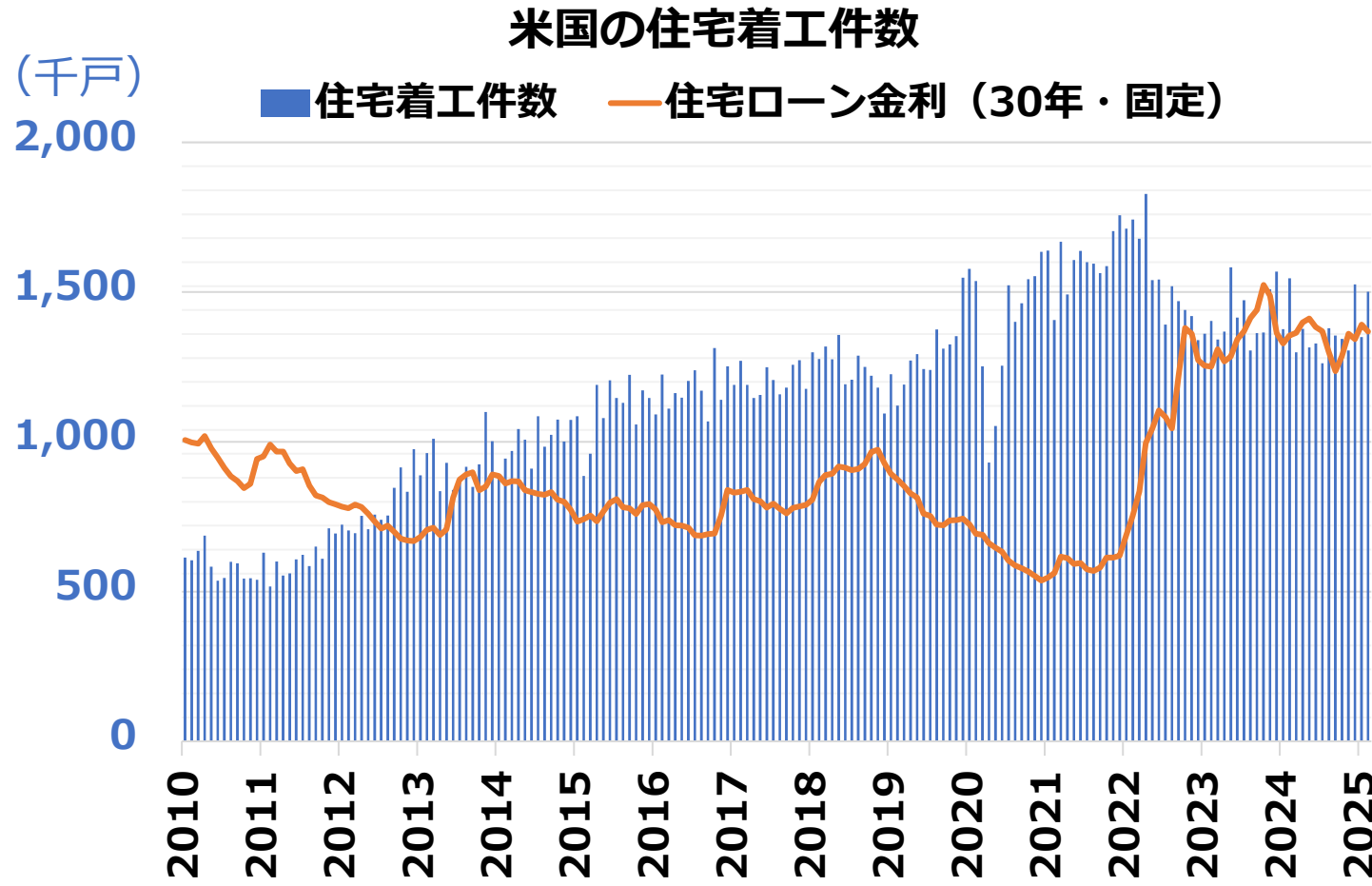
● 需要の伸長余地



 セメント協会資料, Global Cement Report, World Bank Open Data, US Census Bureau, 外務省データを基に作成

米国需要見通し

● セメント需要の指標



米国需要見通し

CPCの事業環境

経済規模の比較（2024年）

順位	国及び米国州	名目GDP (10億ドル)	人口 (千人)
1	米国	29,185	340,111
2	中国	18,748	1,420,909
3	ドイツ	4,659	84,696
4	カリフォルニア州	4,103	39,431
5	日本	4,026	124,071
6	インド	3,909	1,444,436
7	イギリス	3,645	68,923
8	フランス	3,162	66,496
9	テキサス州	2,709	31,291
10	イタリア	2,372	59,435
11	ニューヨーク州	2,297	19,867

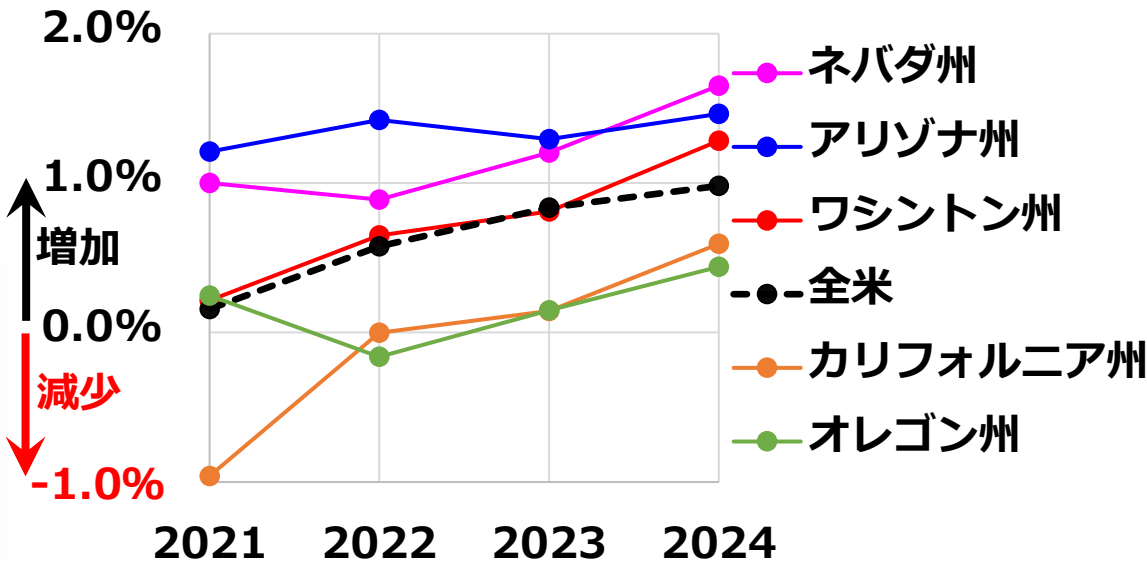
- カリフォルニア州のGDPは2024年に日本を抜き**世界第4位**
- アリゾナ、ネバダ州の人口もカリフォルニア州からの移住者や移民の受入により**全米人口増加率を上回る水準で成長**が続く
 - 企業誘致（アリゾナ/TSMC等の半導体産業、ネバダ/パナソニックEV電池等）、娯楽・観光業伸長（ネバダ）による雇用増加
 - 生活のしやすさ（気候、生活費、諸税）

直近5年間の人口動態

(千人)

	2020	2024	増加数	増加率
アリゾナ州	7,187	7,582	395	5.5%
ネバダ州	3,117	3,267	151	4.8%
ワシントン州	7,727	7,958	231	3.0%
オレゴン州	4,244	4,272	29	0.7%
カリフォルニア州	39,522	39,431	-91	-0.2%
5州合計	61,797	62,512	715	1.2%
全米	331,578	340,111	8,533	2.6%

各年の人口増加率（対前年比）推移



米国需要見通し

● インフラ投資法

プロジェクト	調達資金額 (億ドル)
輸送部門	5,698
道路・橋梁整備プロジェクト	3,263
旅客および貨物鉄道整備	630
公共交通整備	826
空港整備	250
港湾・水路整備	167
安全性確保整備	376
EVインフラ整備	186
気候・エネルギー・環境部門	1,987
再生可能エネルギー・電力	750
水道インフラ整備	643
災害・サイバーセキュリティ対策	379
環境保全	216
ブロードバンド網整備	644
その他プロジェクト	87
2030年までの合計	8,415

BIPARTISAN INFRASTRUCTURE LAW GUIDEBOOKを基に作成

● LA森林火災からの復興

	被害の状況
焼失面積	200平方キロメートル以上 (東京23区の約3分の1に相当)
焼失建物数	1万6,000棟以上
避難者数	約18万人が避難
被害額	推計被害額は760億～1,310億ドル (約11兆～19兆円)



被災地域（イートン、パリセーズ地区）の復興に加え、より
厳格な防火基準等の導入に伴い、木材から**耐久性がより高い
セメント系建材へのシフトによる追加需要**が見込まれる

出典：UCLA Anderson School of Management 「Economic Impact of the Los Angeles Wildfires」

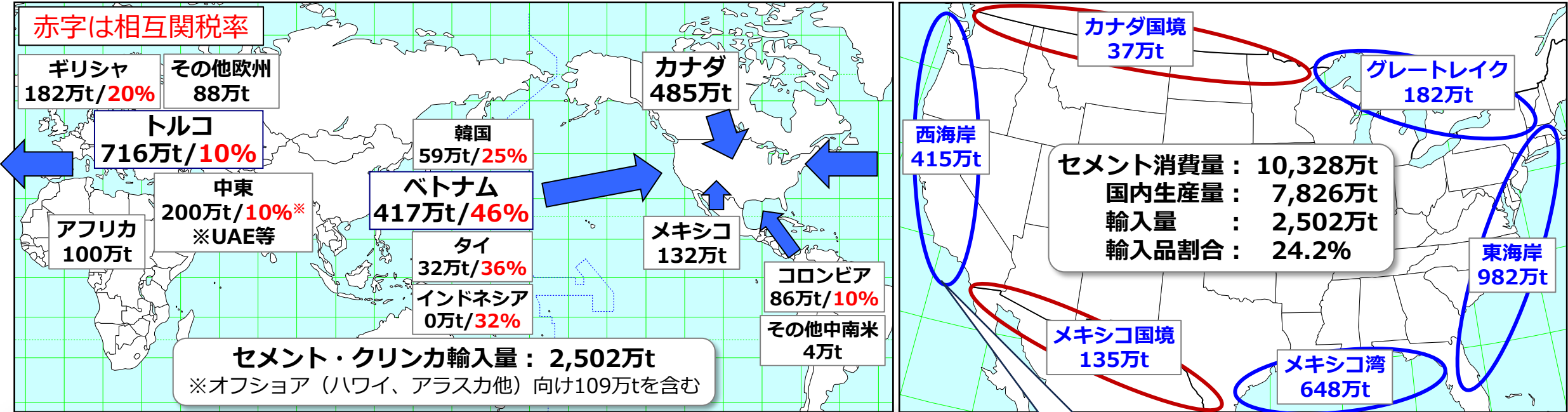
写真：Amy Katz/ZUMA Press Wire/共同通信イメージズ

米国需要見通し

● トランプ関税の影響

米国セメント需要・輸入動向（2024年）

揚げ地別セメント・クリンカ輸入量



トランプ関税の影響とCPCの対応

- CPCの2025年販売量は630万tを計画し、うち**180万t程度**を輸入で調達予定
- 他社は、関税によるコスト増加を回避するため、輸入ソースの一部をベトナム以外の国へ切替える可能性はあるが、米国西海岸の市場は大半を輸入セメントに依存しており、供給能力を考慮すると全ての切替は困難
- CPCはベトナム、韓国その他、インドネシアからの輸入開始により、**より多くの選択肢を有し**、また、関税の影響は**販売価格へ転嫁する方針**

西海岸の輸入ソース内訳

輸入ソース	輸入量(千t)	構成比	相互関税率
ベトナム	2,764	67%	46%
カナダ	765	18%	対象外
韓国	589	14%	25%
メキシコ	28	1%	対象外
総計	4,146	100%	

海外事業（米国）

● 垂直統合による更なる基盤強化

① 安定且つ高収益の骨材事業拡大

- ・ 事業ポートフォリオ改善（近年は主にセメント事業を拡大）
- ・ 特に大LA都市圏の**骨材資源は希少で高収益**

② サプライチェーンの強化

- ・ 生コン事業拡大により需要減少下でも**安定した供給先確保**
- ・ LA地区自社生コン事業への骨材供給機会獲得による**将来の生コン事業収益確保**

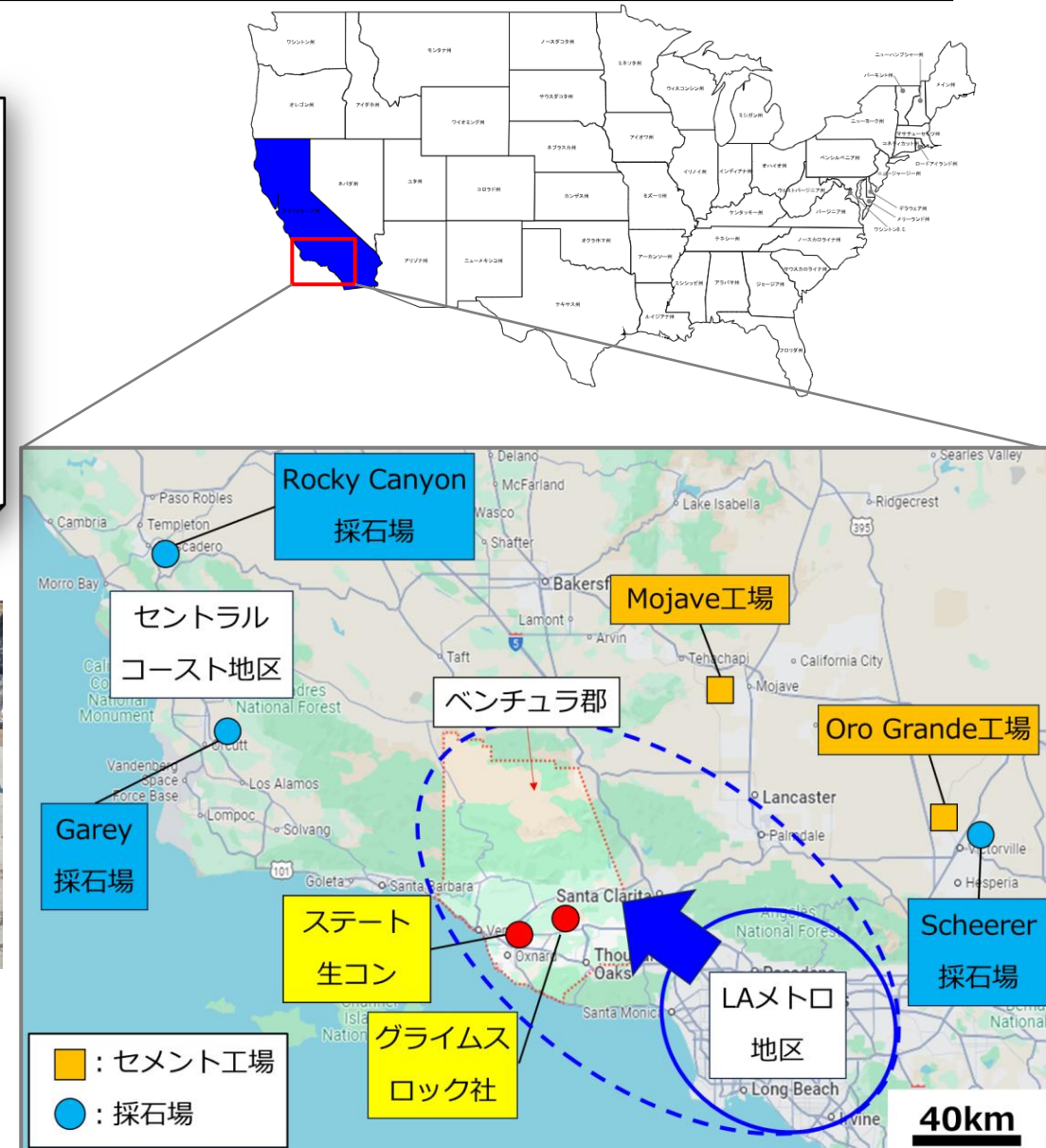
グライムスロック社



ステート生コン



良質な玉砂利
を採取可



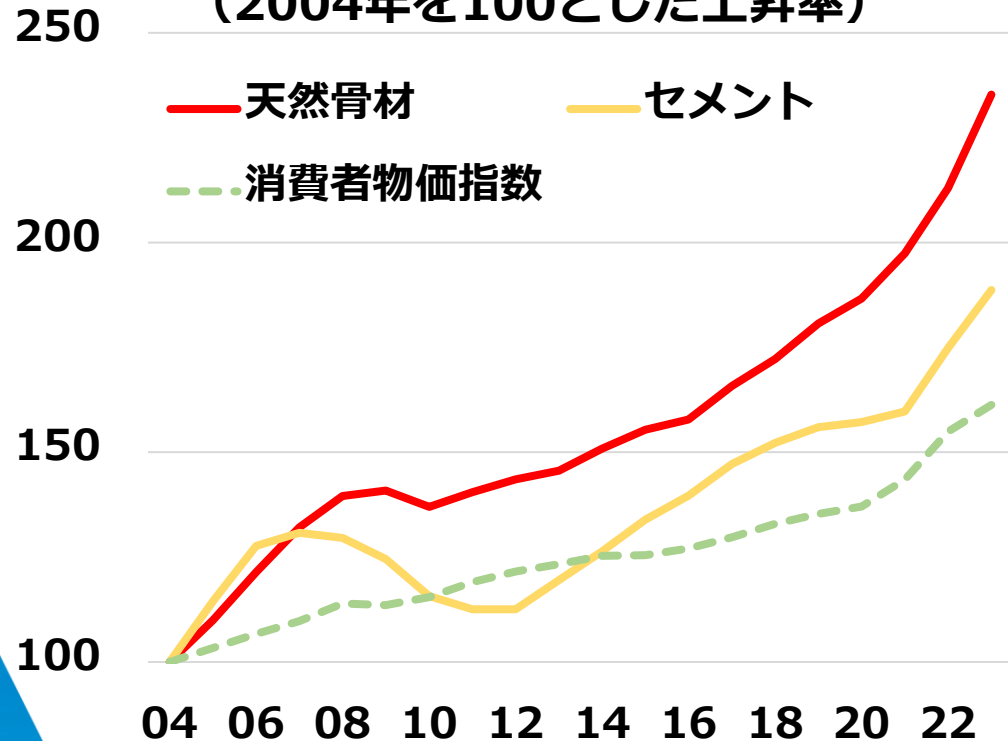
海外事業（米国）

● グライムスロック社買収の意義

安定・高収益が見込まれる骨材事業の拡大

- リーマンショック時も市況は安定
- カリフォルニア州は特に市況が高い（希少性を反映して都市圏で特に顕著）

全米のセメント・骨材価格推移
(2004年を100とした上昇率)



コンクリート向け粗骨材・細骨材価格
(2022年州別ランキング)

(ドル/t)

25

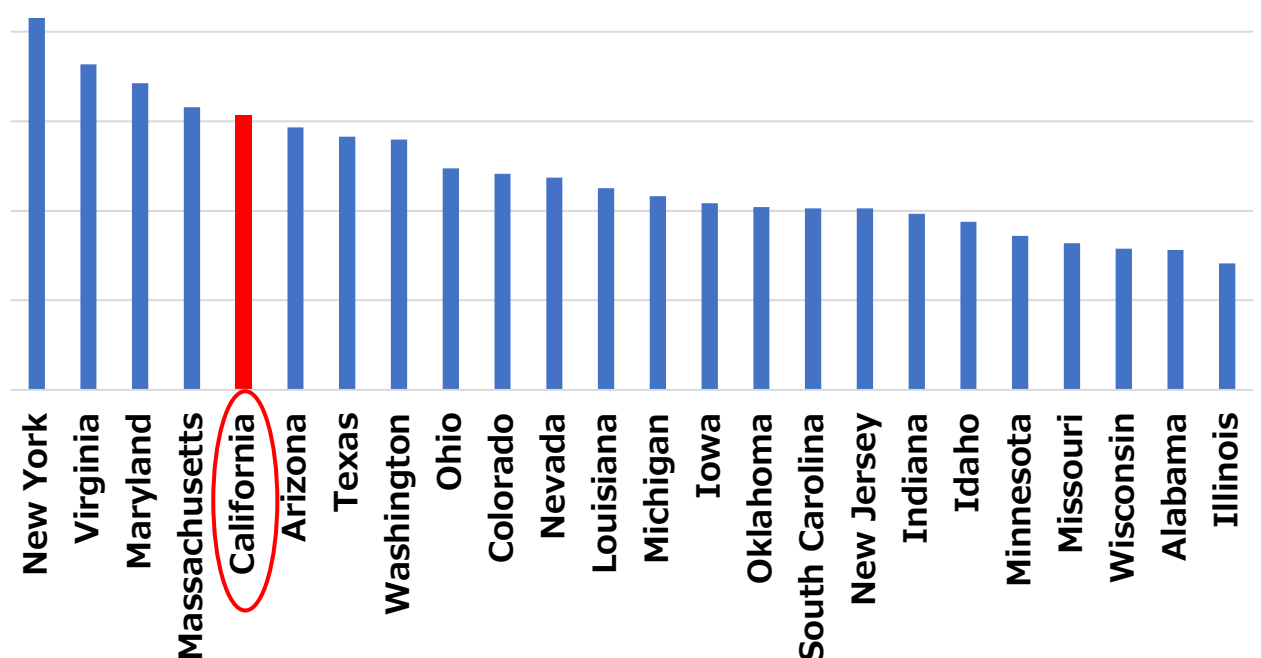
20

15

10

5

0



海外事業（フィリピン）

● 新生産ライン稼働 & 石炭灰活用による競争力追求

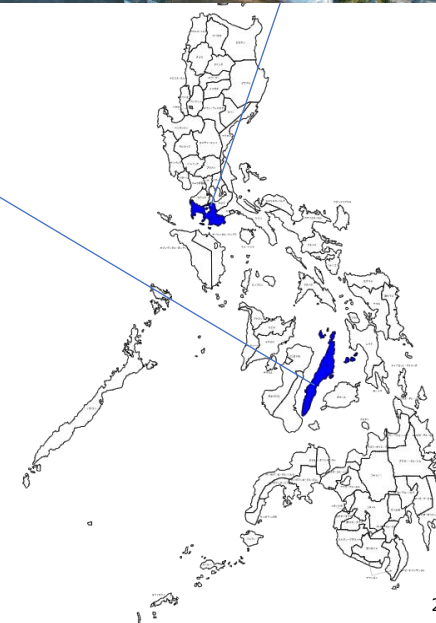
TCPIサンフェルナンド工場



日本品FAセメント荷揚げの様子
(第1船 本年2/12、第2船 4/10)



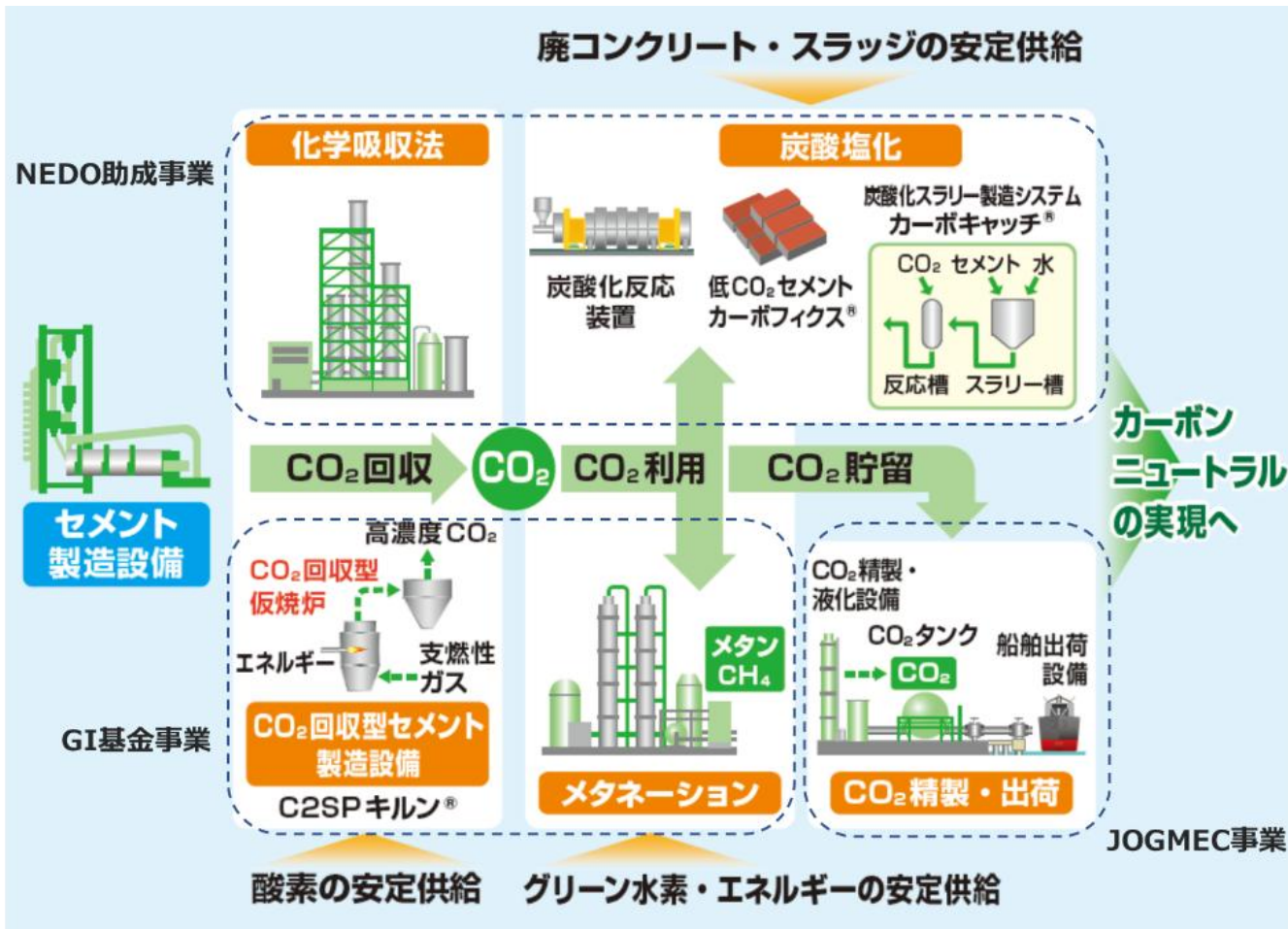
ルソン島セメント出荷ターミナル (建設中)



- **最新鋭設備の原価低減効果**を享受すべく最大生産・販売を目指す
- 品質・価格面で競争力を有する**日本品FAセメントの輸入販売**
- ルソン島南部のバタンガス州カラカ地区に建設中のセメント出荷ターミナルは、2026年から商業運転開始予定



● C2SPキルン実装化の取り組み



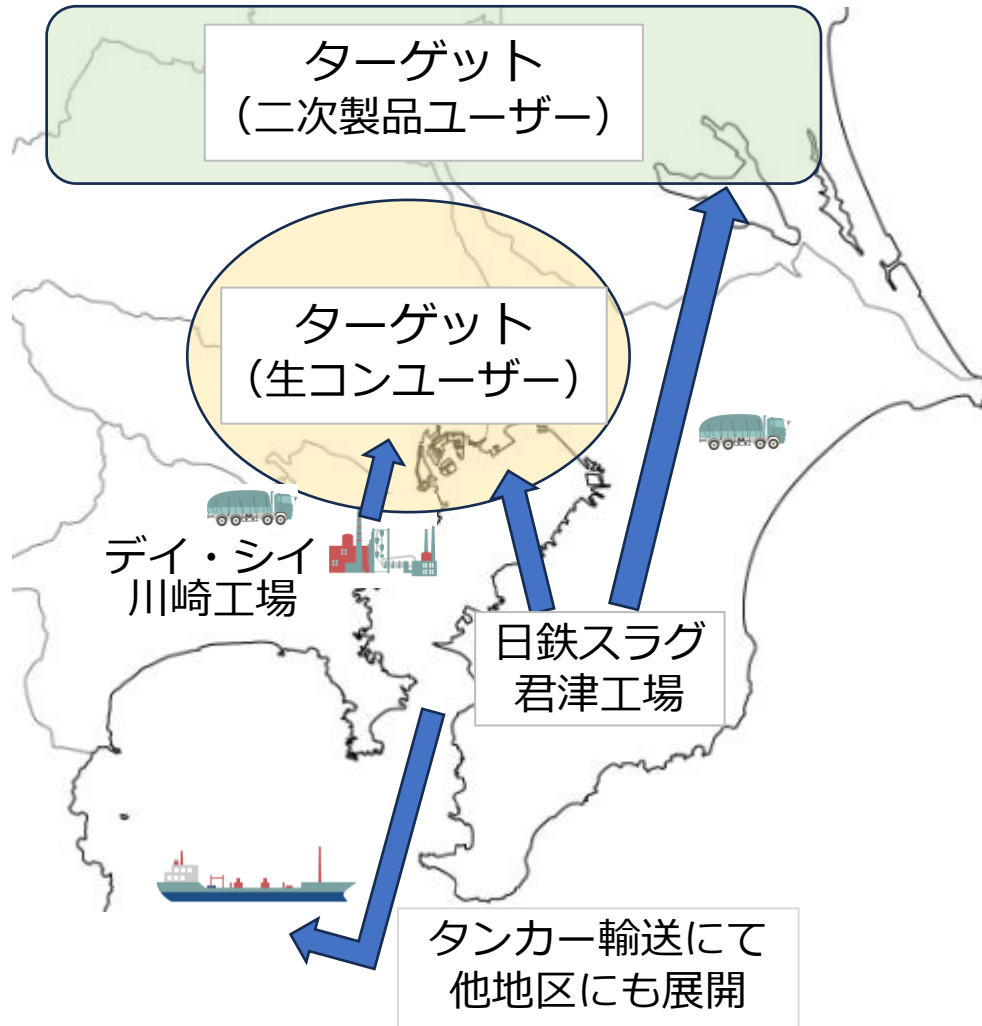
デイ・シイ社C2SPキルン®実機実証へのステップ



本成果は、「NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託・助成事業（P20013、JPNP21014）」および「独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）先進的CCS事業の実施に係る設計作業等（日本海側東北地方CCS）」の結果、得られたものです。

CN戦略

● 低炭素型混合セメント「高炉セメントC種」販売開始



カーボンニュートラル実現に向けた取り組みとして
CO₂排出量を約65%削減した低炭素型混合セメント
『**高炉セメントC種**』の製造販売を開始します

【販売開始時期】 2025年9月

【販売エリア】 首都圏 および関東エリア

【製造出荷拠点】 デイ・シイ 川崎工場
日鉄スラグ製品 君津工場

CN戦略

● 屋久島町のゼロカーボンアイランド構想への協力

太平洋セメントグループ商材・技術の活用により、
災害防止、CO₂削減、ライフサイクルコスト低減



落石の破碎
ブライスター
(静的破碎剤)

落石防止
高強度コンクリート
擁壁補強



人道橋



デッキ

ベンチ



コンクリート舗装
カーボキャッチ®舗装



ブロック舗装
カーボフィクス®セメント



DX戦略

● 生産プロセスイノベーション（スマートファクトリー）

➤ キルンオペレーションの進化

- ・ 国内・海外工場キルン運転の集中管理
- ・ 熟練オペレーターによる遠隔サポート
- ・ キルン自動運転システムの構築
- ・ 夜間無人運転の検討

➤ 設備点検手法の高度化

- ・ 現場計器データの自動収集及びAIによる寿命予測
- ・ ドローンによる設備点検体制の導入

➤ 工場現場作業の自動化・省力化

- ・ 重機遠隔操作システム及びトラック無人運転導入
- ・ 袋セメント積込の自動化
- ・ 入場者管理・安全教育へのICT導入



株主還元

- 2024年度は、10円増の80円/株（中間配当40円/株含む）予定
- 2025年度は、20円増の100円/株（中間配当50円/株含む）を計画

《26中計株主還元方針》

総還元性向 33%以上

安定配当の継続

1株当たりの配当額 80円以上

機動的な自己株式の取得

